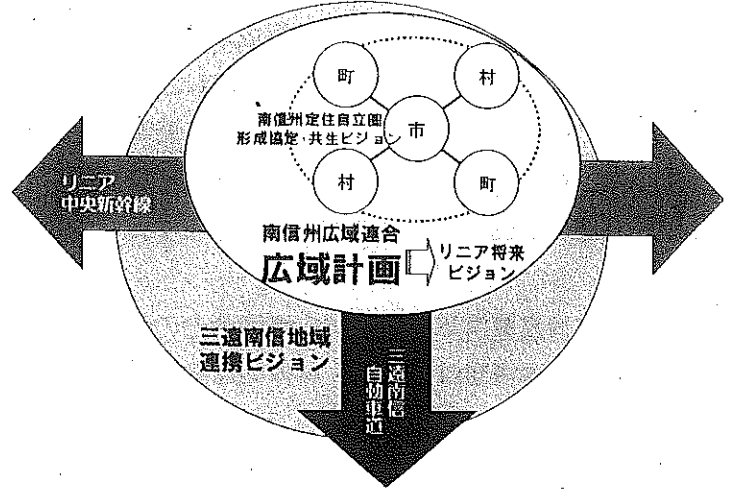


南信州広域連合 第3次 広域計画 (平成23年度～平成27年度)

I はじめに ～～計画策定の趣旨～～

リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通を見据え、南信州地域が一体となって戦略的に地域づくりを推進する初期5ヶ年の計画として策定

地域を取り巻く環境は今、様々な要因によって厳しさを増してきています。その一方で、三遠南信自動車道等の整備や、平成39年(2027)に開通が見込まれるリニア中央新幹線の飯田駅設置が実現すると、都市圏との移動時間が大幅に短縮され、世界を視野に入れた国際的な交流や人材の誘導、企業の立地等の可能性が高まることから、地域の質的向上が期待されています。



広域計画はこれまで、スケールメリットを活かした市町村事務の共同処理を事務事業の中心に定めていましたが、今回策定する広域計画は、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通を見据え、当地域が総合的、戦略的に取り組みをはじめめる初期5ヶ年計画として策定していきます。

II 第3次広域計画の策定にあたって

1 南信州市町村の状況と新たな展開 ～～一体的な政策連携～～

南信州地域は、地理的要因や歴史的要因などから、行政の枠を越えた一つの生活文化圏域を形成してきました。またその一方で、南信州地域を構成する14市町村は、地域の特徴を活かした独自施策を長年にわたって展開してきたことにより、それぞれが個性と魅力を持ち、住民が市町村に誇りと愛着を持つ、多様な地域社会を創り上げてきました。

しかし現在、人口減少、少子高齢化の急速な進行や経済のグローバル化などにより、すべての市町村が生活機能等をフルセットで整備することは困難となっており、産業誘致などの課題は、市町村個別の対応では必要とするニーズに応じきれない状況となってきました。

個々の市町村の多様性や自立性は、当地域の合併によらない地域づくりの大きな特徴ではありますが、山積する大きな課題を解決し、地域や市町村の持続性を確保していくためには、個々の市町村が自治や個性を大切にしながら地域全体の視野を持って役割を担う、南信州市町村の一体的連携による政策展開が必要となってきました。

2 南信州広域連合の方向性と役割 ～～地域政策の推進～～

南信州広域連合はこれまで、ごみ処理、消防・救急業務などの市町村事務の共同処理を担うとともに、基金果実を財源とした調査・研究事業などに取り組んできました。また、市町村の意志疎通の場を定期的に設け、新たな広域的課題に迅速・適切に対応を図り、市町村間の信頼関係の構築にも寄与してきました。

市町村財政の厳しい中、選択と集中をした上で、広域連合、市町村が役割分担して、南信州全体として最適な地域課題の解決に取り組んでいく必要があります。

これらのことから当広域連合は、今後も効率性などの観点から従来の事務事業を担うとともに、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の実現を見据え、人口減少をはじめとする地域全体の危機的状況に対処し、持続可能な地域づくりを実現していくため、一体的な地域経営の視点から、役割分担しつつ地域政策に関しても積極的に推進していきます。

### 3 リニア将来ビジョンと第3次広域計画との関係

南信州広域連合では、平成22年5月に「リニア将来構想検討会議」を設置し、同年11月には平成39年に開通が見込まれるリニア中央新幹線の飯田駅設置を見据えた将来ビジョンを策定しました。第3次広域計画を「リニア将来ビジョン」で示された将来の地域像実現に向けて、地域が取り組む計画として位置づけていきます。

### 4 定住自立圏構想と南信州広域連合との関係

定住自立圏構想は、個別・具体的な課題を関係市町村間において、1対1の“協定”を介して直接的に解決しようとするものであり、自治体間の役割や機能に着目した課題解決の手法です。

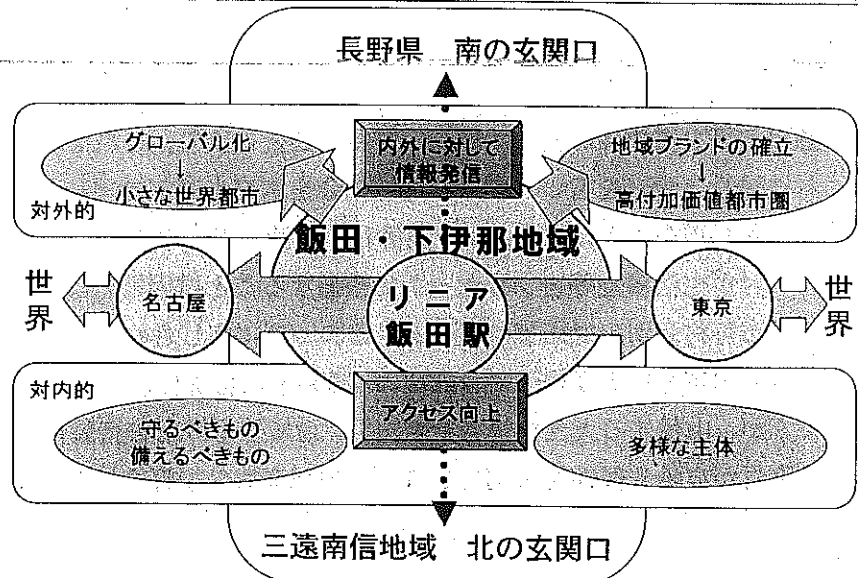
定住自立圏構想は、地域を一体的に扱う広域連合制度による地域づくりと補完の関係にあることから、当地域はこの両輪によって総体的・一体的な地域づくりを進めていきます。

## III 南信州地域の「将来の地域像」

### 1 将来の地域像

人口減少などを起因とする危機的な状況を突破していくために、長期的な視野に立った地域の目標が必要です。そこで、リニア中央新幹線飯田駅の開業を見据えた南信州全体のビジョンである「リニア将来ビジョン」における将来の地域像を、この計画における将来の地域像とします。

### リニア中央新幹線飯田駅設置を見据えた将来の地域像

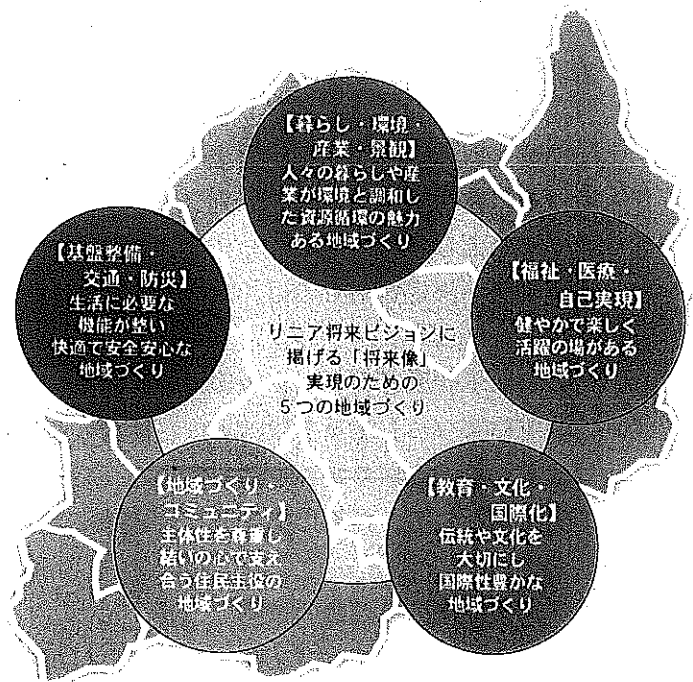


将来の地域像実現のためには、豊かな自然環境を守るとともに、多様な業種の工業集積や結いに代表される地域コミュニティなど地域の強みをのばし、地域の弱みを克服していく必要があります。時代の潮流であるグローバル化への対応など、今後も顕在化してくるであろう様々な課題に対し、若い世代や女性の参画など多様な主体による議論を経て、守るべきものは守り、備えるべきものは備え、変えるべきものは変えるといった、この地域にあった方法で解決していくことが求められます。

## 2 5つの地域づくり

将来の地域像実現のために第3次広域計画期間の目標として「5つの地域づくり」を掲げます。

地域が大切に守り育ててきた、歴史、伝統、文化、景観、誇りなどを「まちの品位」としてさらに高めて継承していくとともに、環境を基軸とした人々の暮らしや生き方、地域の佇まいなどが成熟した、質の高い、世界的な魅力を持つ地域づくりを進めていきます。



## 3 地域づくりの主体

多様な主体による役割分担と協働により「5つの地域づくり」を実現します。(広域連合、市町村、地域住民・住民組織・NPO・企業 等)

## IV 広域計画

### 1 基幹事務事業

南信州広域連合では、ごみ・し尿処理、消防・救急、介護認定など、スケールメリットを活かした事務や専門性が求められる事務、個別市町村では実施困難な事務を担ってきました。また、基金の果実を財源として、広域的な行政サービスの提供や各種ソフト事業を展開してきました。

従前より取り組んでいるこれらの事務事業は、当広域連合の基幹事務事業として今後も取組内容を適宜見直しながら継続して実施していきます。

- 1 広域連合の区域における広域行政の推進に関する事
- 2 地方拠点都市地域の振興整備に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関する事
- 3 広域的な幹線道路網構想及び計画の策定並びに同構想及び計画に基づく事業の実施に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関する事
- 4 広域防災計画の実施に必要な連絡調整に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関する事
- 5 消防に関する事(消防団、消防水利施設及び防災計画に関する事務を除く)
- 6 介護認定審査会の設置及び運営に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関する事
- 7 市町村審査会の設置及び運営に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関する事
- 8 老人ホーム入所判定委員会の設置及び運営並びに入所調整に関する事
- 9 地域生活支援事業としての相談支援事業に関する事
- 10 障害者支援施設の設置、管理及び運営に関する事
- 11 共同生活援助事業所及び共同生活介護事業所の設置、管理及び運営に関する事
- 12 ごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設の広域化計画の策定並びに同計画に基づく事業の実施に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関する事
- 13 ごみ処理施設の設置、管理及び運営に関する事
- 14 し尿処理施設の設置、管理及び運営に関する事
- 15 市町村間の人事交流の連絡調整に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関する事
- 16 広域的な課題の調査研究に関する事
- 17 知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例により、広域連合が処理することとされた事務に関する事
- 18 広域計画の期間及び改定に関する事

## 2 調査研究プロジェクト ～～地域政策への取り組み～～

### (1) 調査研究プロジェクトの設定

予想される課題を克服し将来の地域像を実現していくために、南信州広域連合では、当地域における重要な課題を「調査研究プロジェクト」として設定し、関係市町村のトップリーダーが参画するなどして、一丸となって解決に向けた調査研究に取り組んでいきます。調査研究の中で、事業実施が決定したものは、役割分担により具体的な実施に移していきます。

### (2) 調査研究プロジェクトの推進主体

調査研究プロジェクトは、当広域連合が推進していくほか、当該プロジェクトに関する課題に対して先行的な取り組みを進めている、あるいは調査研究を担うことがふさわしい市町村などを推進主体として、民間の力を元に専門家の協力も得ながら、役割分担して進めます。

### (3) 南信州広域連合の役割

当広域連合は、プロジェクトが多岐にわたることから、主として研究組織の整備と協議の場の設定、進行管理を行っていきます。

調査研究プロジェクト（例示） ※これらのほか、必要に応じてプロジェクトを設定します。

プロジェクト名	想定される主な内容	進行管理
リニア中央新幹線、三遠南信自動車道等、交通機関に関する調査研究	地域間を結ぶ交通体系、交通アクセス、公共交通について 景観の整備、土地利用（ゾーニング）について	（仮称）プロジェクトマネジメント会議（事務局 南信州広域連合）
大学等高等教育機関の誘致・設置に関する調査研究	南信州版の高等教育機関の設置について 地域を学びの場とする教育プログラムについて	
地域医療・福祉に関する調査研究	地域全体の医療体制等について 医師や医療従事者等の確保について	
地域産業、地元企業育成と企業誘致、新産業創出に関する調査研究	農林業の育成・支援について 商工業等、地元企業の内発的、複合的育成・支援について 研究開発型企業の誘致について	
環境を基軸とした地域づくりに関する調査研究	低炭素、資源循環、環境配慮の地域づくりについて （自然エネルギー活用、域産域消、生物多様性保全戦略等）	
広域連携に関する調査研究	県境を越えた広域連携について（三遠南信を区域とする広域連合等） 広域観光について	
グローバル化に関する調査研究	グローバル化への対応について 国際感覚を持つ人材の育成	
定住に関する調査研究	二地域居住、空き家対策について 転入者受入の仕組みづくりについて	
ブランド化に関する調査研究	地域資源を活用した地域ブランドの確立について 戦略的な情報発信について	
ICTの活用、情報発信に関する調査研究	生活や就労等におけるICT化について 情報発信について	
地域づくり、人づくりに関する調査研究	若者、女性、外国人が参画する地域づくりについて 民俗芸能や技能、伝統等の次世代育成について 地域コミュニティ・民間組織等への支援について	
地域人口に関する調査研究	地域の少子高齢化、生産年齢人口減少への対応について	

平成 23 年 南信州広域連合

〒395-0034 飯田市追手町 2 丁目 678 番地 TEL 0265-53-7100

URL <http://mi7mi.org/> FAX 0265-53-7155